



未来を生き抜く人材育成事業「キャリア教育コーディネーター活用事業」モデル校の指定を受けています。

2年生_1年間のBRIDGEを終えて

最初テーマを決めた時は何をすればいいか全然分からなかったけれど、調べていくうちにだんだん興味が湧いてきて、やるべきことが分かってきて、最後には納得のできる発表ができてとても楽しかった。

僕は日常で気になっていたことなどをテーマとして考える探究学習が好きでした。例えば道路がデコボコしていて通りづらいなどの課題に対し単純に道路整備をする、全ての道路を改善するのは難しいから車がデコボコに対応できるように企業努力に努める、など答えは1つでないことや出した答えにまた課題が生まれるなどといったところが僕は興味深く面白く感じた。また一般の僕たちの意見でも今まで考えもしなかったようなことを発案する可能性があるのでも今後も探究活動は続けていくべきだと思う。

私はこの一年間の探究活動でさまざまな問題について調べました。その中で印象に残っているのは問題と問題を組み合わせるという考え方を教えてもらったことです。今まで私は一つの問題に対して一つの解決策と一つの視点でしか物事を観察、思考できていませんでした。しかしこの考え方を学んだ今ではいくつもの問題を組み合わせで新たな自分でたてた問いを様々な問題に対する解決策を組み合わせで作るようになりました。これは自分にとって大きな財産となりました。

探究活動をすることで問題解決能力を身につけることができ、探求の課題に直面した時に解決策を導くためのスキルを磨くことができました。また、自分だけの解決案を創造することで新しいアイデアやアプローチを考える力を身につけることができました。探究活動を通じて自分自身を知り成長する機会を得ることができたと思います。

キャリア教育推進教員研修「21世紀型スキル：学びと評価の新たなカタチ」

3月11日（月）にウィンクあいちで行われた探究の教員向け研修会に参加しました。研修会では、聖心女子大学現代教養学部教授の益川弘如先生から「21世紀型スキル：学びと評価の新たなカタチ」というテーマでお話いただきました。社会の変化に合わせて、授業の設計やアプローチを変えていくことの意義と重要性をお話いただいた他、授業の展開方法の1つとして、「知識構成型ジグソー法」を紹介していただきました。今回の研修会で学んだことを校内で共有して、学校全体で探究学習の推進に努めていきます。

